

1. 愛する人との食事

けがをしたおじいさんが、朝早く病院^{びょういん}に来ました。おじいさんはとても急いでいました。どうしてそんなに急いでいるのでしょうか。

ある日の朝8時半ごろ、私の病院^{びょういん}に80歳ぐらいのおじいさんが来ました。

「9時に約束^{やくそく}があるんです。すぐ診てください」

「分かりました。指のけがですね」

指を診^みると、けがはそれほどひどくありませんでしたから、あまり時間はかからないだろうと思いました。

「このぐらいなら、すぐ終わりますよ」

「そうですか。それはよかった」

「それにしても、どうしてそんなに急いでいるんですか」

「実は、9時に妻と一緒に朝ご飯を食べるんです」

「ああ、奥さんがお宅で待っているんですね」

「いえ、妻は老人ホーム^{ろうじん}に入っています。認知症^{にんちしょう}なんです」

「認知症^{にんちしょう}ですか。少しでも朝ご飯に遅れたら、奥さんは怒^{おこ}ってしまいますか？」

「そんなことはありません。妻は、私が誰か、もう分からないんですから。そろそろ5年になるかな」

「5年?! 奥さんはあなたのことが分からないのに、5年間も毎朝奥さんのところへ通っているんですか？」

「ええ。妻は私のことが分からないけど、私は妻のことが分かりますからね」

おじいさんはほほ笑^えみながらそう言って、急いで出て行きました。

単語リスト：

それにしても Dù vậy đi nữa

老人（ろうじん）ホーム Viện dưỡng lão

認知症（にんちしょう） Chứng mất trí nhớ

ほほ笑む（ほほえむ） Mỉm cười

病院（びょういん） Bệnh viện

診る（みる） Khám

指（ゆび） Ngón tay